



豊田通商グループ^o 会社説明会

登壇者：財務部IR室 室長
荒木 裕一

2024年3月23日
豊田通商株式会社
(証券コード 8015)

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～ P3～8

II. 業績推移 P9～10

III. 成長戦略 P11～14

モビリティ関連事業 P15

再エネ事業 P16～18

アフリカ事業 P19～24

IV. 株主還元方針 P25～28

V. 質疑応答

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～ P3～8

II. 業績推移 P9～10

III. 成長戦略 P11～14

モビリティ関連事業 P15

再エネ事業 P16～18

アフリカ事業 P19～24

IV. 株主還元方針 P25～28

V. 質疑応答

豊田通商とは

➤ Global Vision



Be the **Right ONE**

恒久的に変化しない
世代を通じて継承すべき
最高概念

基本
理念

基本理念を
追求・実現し続ける中で
到達すべき目標・道標

ビジョン

経営環境の変化を踏まえた
事業活動指針・方針と
具体的なアクションプラン・
数値目標を含む事業戦略

中期経営計画
年度計画

商魂

現地・
現物・
現実

チーム
パワー

豊田通商グループウェイ

基本理念の実現やビジョンの達成に向け、
全ての豊田通商グループ役職員が共有すべき価値観・行動原則

ビジョン達成に向け、
役職員が共有すべき
価値観・行動原則

当社の紹介映像をご覧ください

<https://www.toyota-tsusho.com/about/stream/>



数字で見る豊田通商

豊田通商株式会社（証券コード8015） 2023年3月末時点



設立
1948年



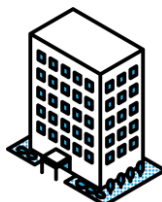
主要株主
トヨタ自動車
21.69%



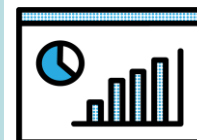
連結従業員数
約67,000名



グローバル
ネットワーク
約130カ国



連結関係会社数
国内外合わせて
約1,000社



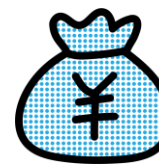
23/3期
当期利益
2,841億円
過去最高益更新



株式
時価総額
約3.4兆円[※]










PBR **1.5倍**[※]
ROE **15.6%**



1株当たり配当金
@202円
13期連続増配

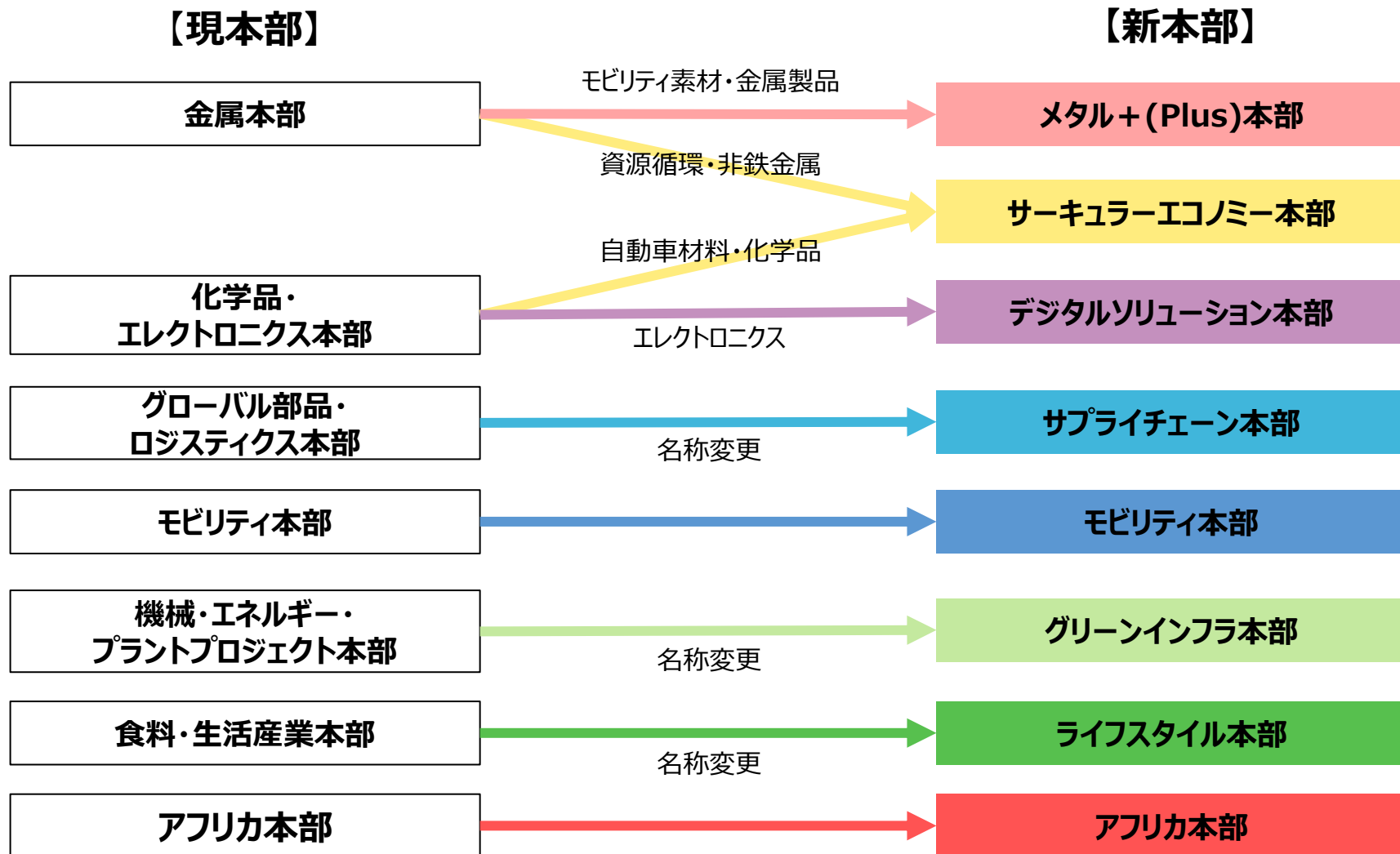
※24年2月末時点

事業本部概要紹介

営業本部	事業内容	自動車	自動車以外	税後利益(単位：億円)	
				前期(実績)	今期(見通し)
金属	自動車鋼材、金属製品、非鉄金属、金属資源			766	700
グローバル部品 ・ロジスティクス	自動車構成部品、物流事業、タイヤ組付け			343	410
モビリティ	自動車等(二輪車、トラック、バス含)の輸出・小売、販売周辺			457	570
機械・エネルギー ・プラントプロジェクト	車輛生産設備、エネルギー、プラント、各種機械			326	260
化学品 ・エレクトロニクス	化学品、合成樹脂、エレクトロニクス			479	530
食料・生活産業	穀物、食品、保険、アパレル関連、介護・医療用品			95	110
アフリカ	モビリティ、ヘルスケア、コンシューマー、電力・インフラ・テクノロジー			363	610
			合計	2,841	3,200

新本部体制（2024年4月1日～）

～商品軸からミッション軸の本部体制へ～



目次

I. 会社概要～豊田通商とは～ P3～8

II. 業績推移 P9～10

III. 成長戦略 P11～14

モビリティ関連事業 P15

再エネ事業 P16～18

アフリカ事業 P19～24

IV. 株主還元方針 P25～28

V. 質疑応答

業績推移

当期利益 過去20年間の推移

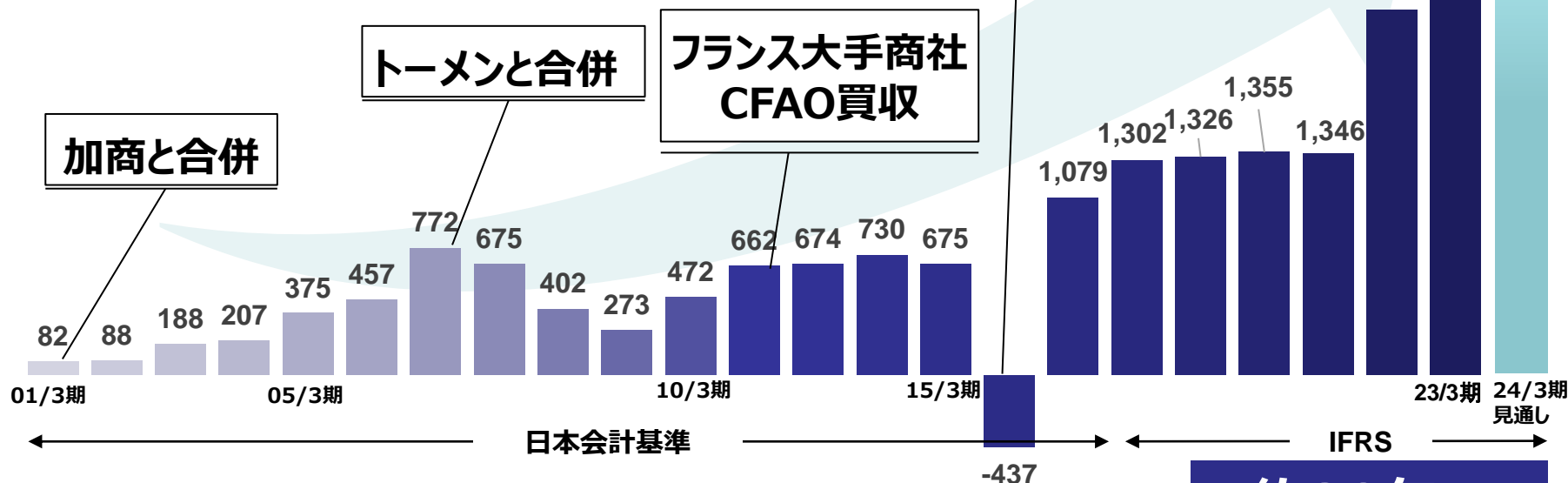
01/3期比較(約20年間)

当期利益 **+34.6倍**

23/3期
2期連続の
最高益達成

(単位：億円)

資源価格下落等により
約1,000億円減損実施



	01/3期	11/3期	23/3期
株価	413円	1,372円	9,674円*
時価総額	1,179億円	4,858億円	3兆4,052億円*
関連会社数	140社	592社	1,007社
人員数	9,490人	31,081人	66,944人

*24年2月末時点

約20年で

+23.4倍
+28.8倍
+7.2倍
+7.1倍

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～ P3～8

II. 業績推移 P9～10

III. 成長戦略 P11～14

モビリティ関連事業 P15

再エネ事業 P16～18

アフリカ事業 P19～24

IV. 株主還元方針 P25～28

V. 質疑応答

当社の成長戦略



Be the Right ONE



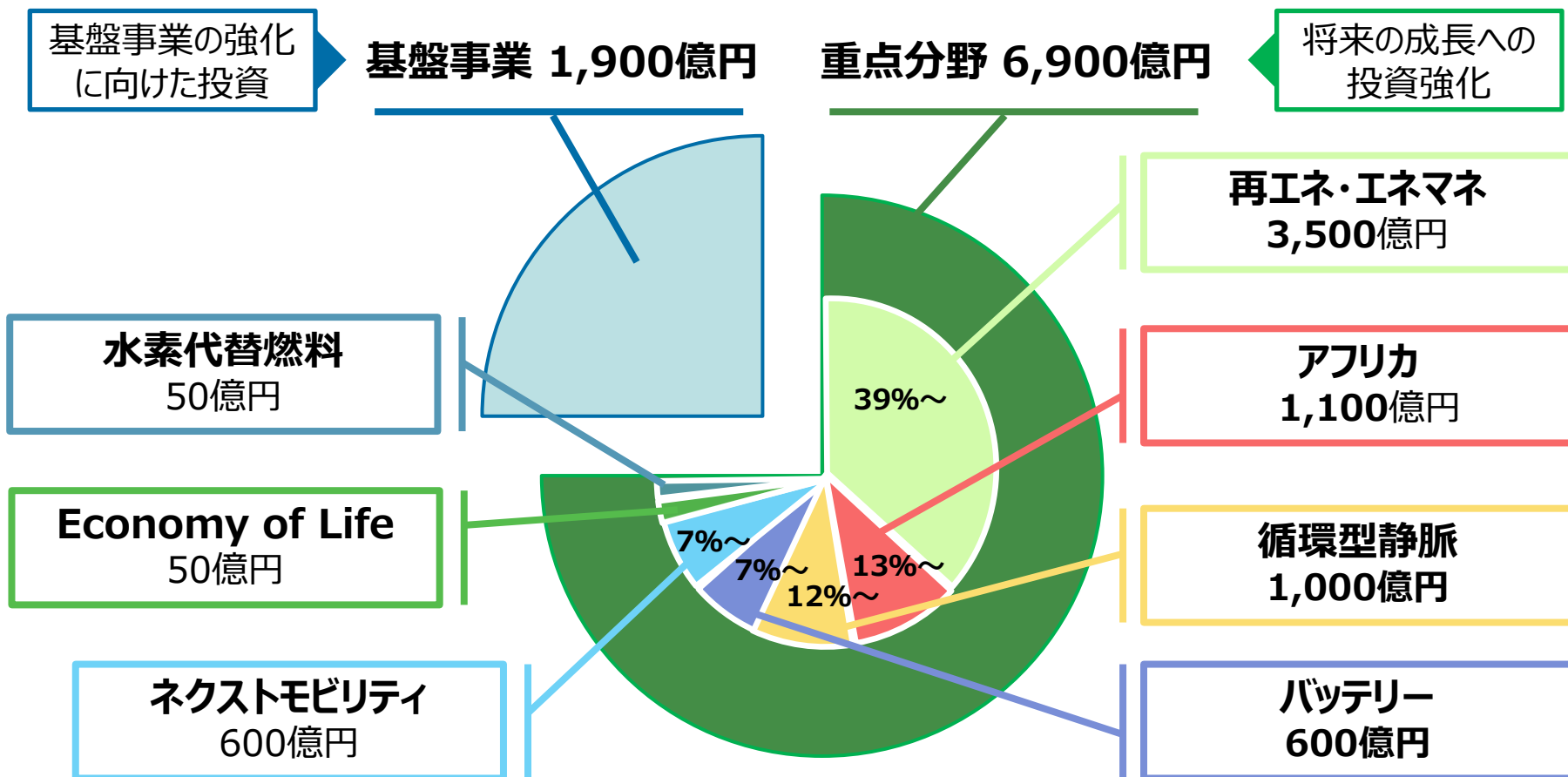
*再生可能エネルギー・エネルギーマネジメント

成長戦略 投資配分

3年累計投資額【24-26/3期】

合計 **8,800**億円

23年12月時点投資額
2,659億円(進捗30%)





*再生可能エネルギー・エネルギーマネジメント

モビリティ関連事業



設備調達・設置



原材料調達

生産準備

最適調達

加工・物流

スチールセンター
物流センター

部品組付け

タイヤ組付け
エアバッグ縫製

販売・サービス

海外代理店・ディーラー

リサイクル

モビリティバリューチェーンの
川上から川下まで幅広くカバー

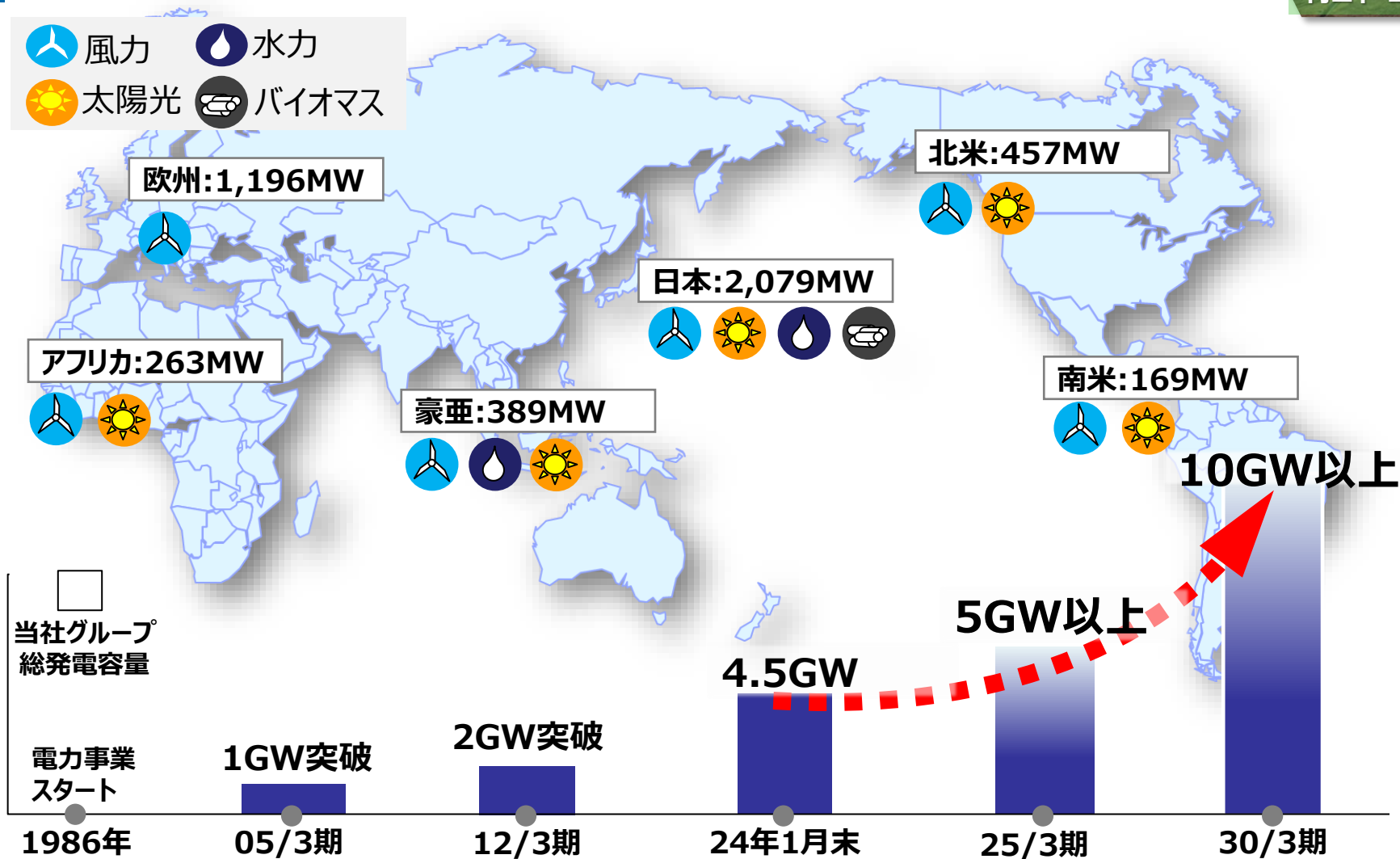
金属くず・廃棄物
・廃車



再エネ・エネマネ



- 風力 (Wind)
- 水力 (Hydro)
- 太陽光 (Solar)
- バイオマス (Biomass)



合計 **4,533** MW = 約4.5GW 原子力発電 **4**基分相当 (2024年1月末)

23年4月 ソフトバンクよりSBエナジー社株式85%を取得（取得額1,020億円）
テラスエナジーへ名称変更

テラスエナジー取得の狙い

風力に加え、太陽光でも
国内最大規模の発電事業者となる



電源リソースの多様化により、さらなる再エネの
普及促進と多岐にわたる市場ニーズに応える

テラスエナジーが持つ
VPP(バーチャルパワープラント)
に関する人財・ノウハウの確保



電力バリューチェーンを築き
付加価値の高い電力の安定供給を目指す

 Terras Energy



テラスエナジー熊本荒尾ソーラーパーク



北海道・道北にて過去最大規模の発電/蓄電/送電事業の運転開始

総事業費 約**2,300**億円
(ユーラスエナジー等による出資)

2023年4月運転開始

発電事業

発電所設備容量 約460MW

蓄電事業 ※

国内最大規模の蓄電池システム
(240MW × 3h (720MWh))

送電事業 ※

送電線巨長 約78km



道北浜里ウインドファーム



リウムイオン蓄電池(北豊富変電所)



※ 経済産業省エネルギー庁による「風力発電のための送電網整備実証事業」
事業主体は北海道北部風力送電株式会社

アフリカ



54

展開国数

181

事業体

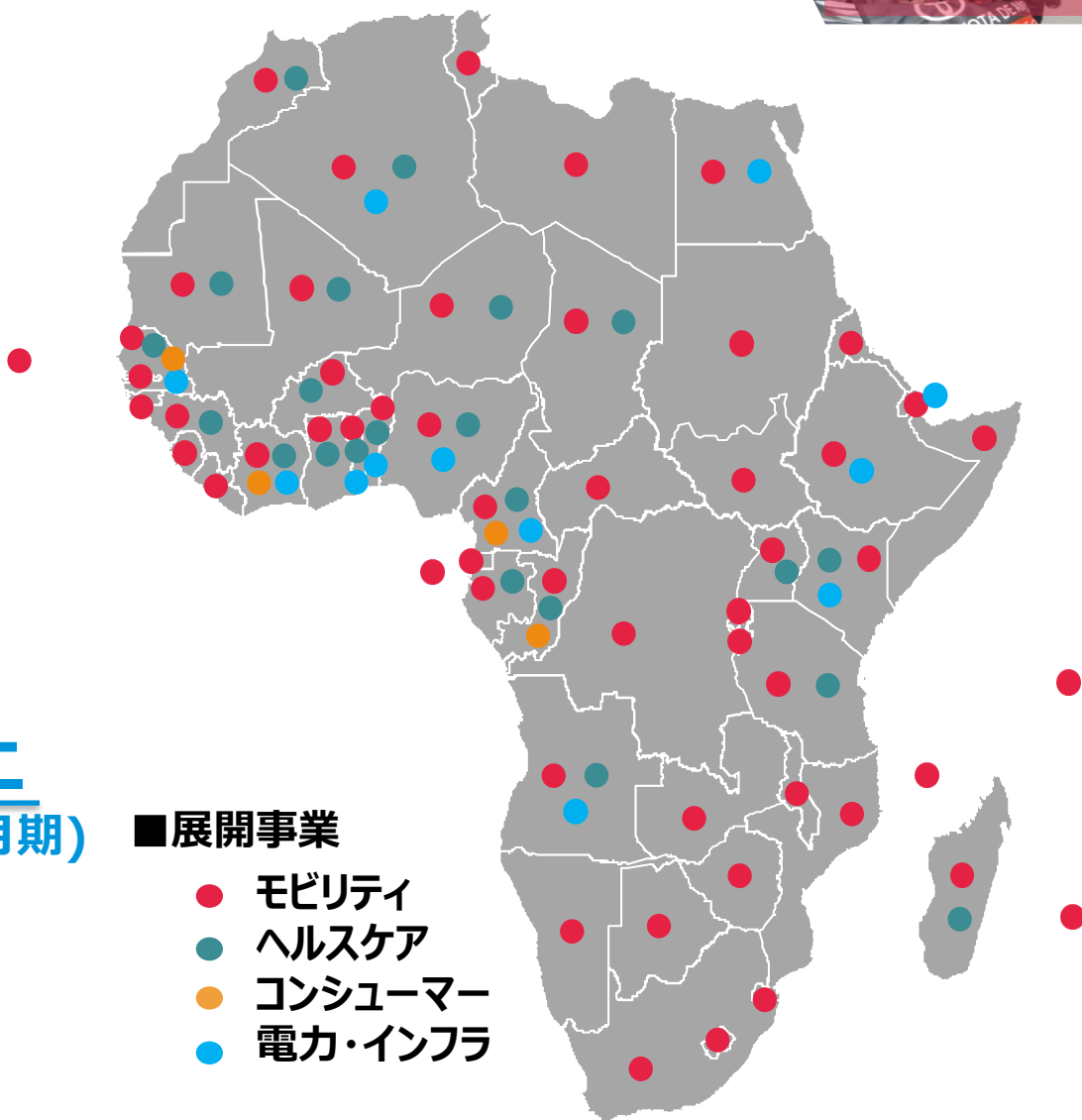
23,000

従業員数

1.4

兆円の売上

(2023年3月期)



アフリカ



生産事業 (川上)

現地生産への挑戦
« Made in Africa »



輸入・卸売・物流
既存コアビジネス

モビリティ

ヘルスケア

コンシューマー

電力・インフラ

リテール事業 (川下)

リテール分野の発展、
アフリカ事業の更なる成長へ



アフリカ

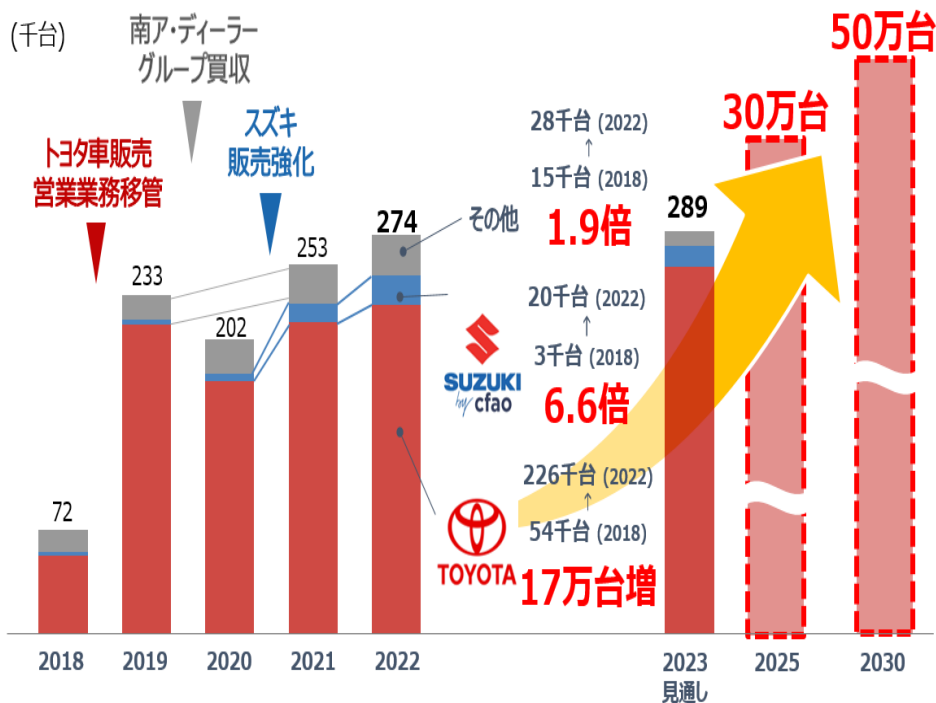
モビリティ

アフリカ54カ国全ての国で自動車事業を展開
小型車販売およびVCを強化

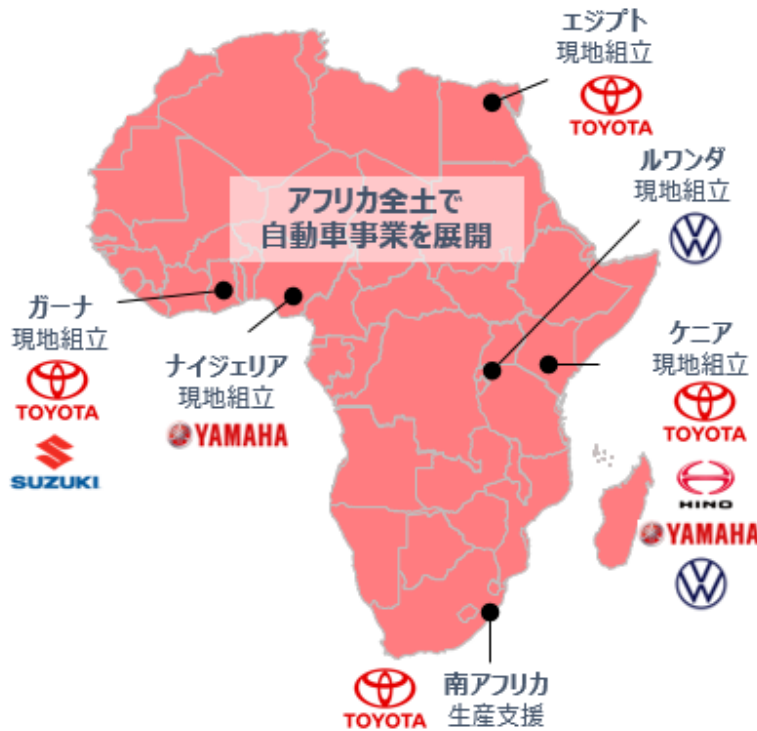


トヨタ車を中心としたマルチブランドを取り扱い
小型車ラインナップの拡充など、販売台数も増加

販売台数推移



2023年7月
ケニアでSUV車
「フォーチュナー」の
SKD(※)生産開始
※Semi Knock Down
(組立製造)



アフリカ



アフリカ

ヘルスケア

医薬品卸売を中心に、現地生産・小売まで
事業領域を拡大

TTC/CFAOグループがアフリカで初めて医薬品小売分野に進出

現地生産

卸売

小売



*モロッコ



*アルジェリア



- アフリカ22カ国で展開
- 約8,600の薬局/病院へ毎日お届け
- 取扱商品数約31,000点、
- 取扱メーカー約500社との取引



Pharmacy Health Beauty ※CFAO約30%出資

- 東アフリカ最大の調剤薬局チェーン
- 店舗数140以上(ケニア, ウガンダ)



- ヘルスケア分野におけるアフリカの
スタートアップに特化したファンド



Goodlife社とCFAOの強みを活かし、
東アフリカにおける、安全で信頼性の
高い、高品質な医薬品へのアクセス向
上に貢献

アフリカ



コンシューマー

拡大する中間層をターゲットに店舗数を伸ばす

ショッピングモール運営事業等リテール事業を拡充



ショッピングモール



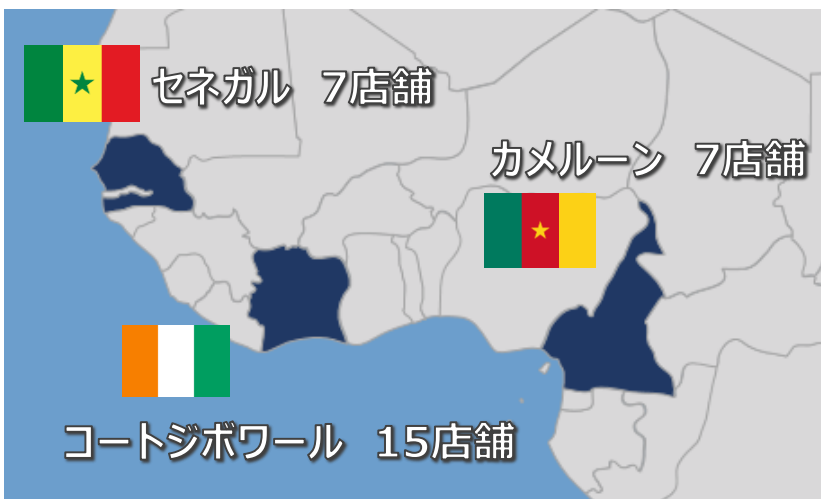
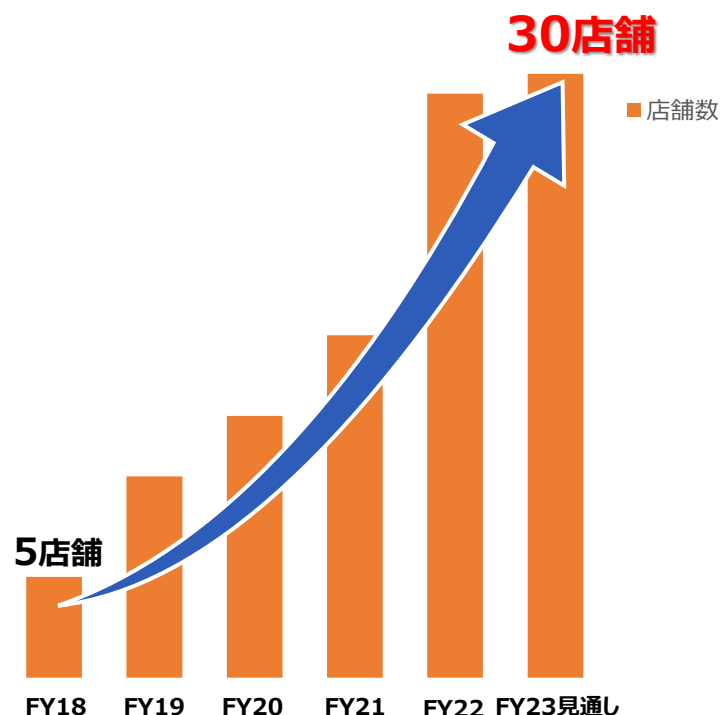
スーパーマーケット



倉庫型店舗

店舗数推移

FY2018年比**6倍**



コートジボワール、カメルーン、セネガルに注力し、アフリカの中産階級の消費者の需要に応える



電力・インフラ

クリーンエネルギーでアフリカの発展と
カーボンニュートラルの実現に貢献

各国の事情を考慮し最適な電源を提案



地熱発電（ケニア）



太陽光発電（ケニア等）

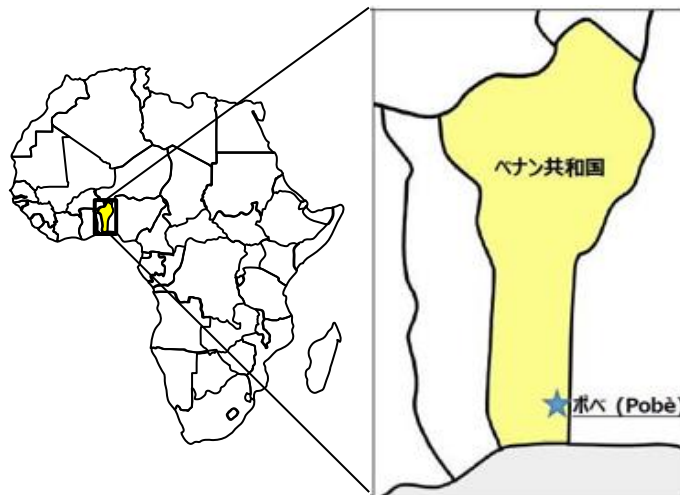


風力発電（エジプト）

直近の取り組み

23年8月 ベナン共和国にて
25MW太陽光発電所の建設工事受注

西アフリカ地域において、
日本企業初かつベナン国内最大級となる
大型再生エネルギー発電所建設案件
(2025年完工予定)



※完工イメージ



目次

I. 会社概要～豊田通商とは～ P3～8

II. 業績推移 P9～10

III. 成長戦略 P11～14

モビリティ関連事業 P15

再エネ事業 P16～18

アフリカ事業 P19～24

IV. 株主還元方針 P25～28

V. 質疑応答

株主還元方針

(参考) 変更前

連結配当性向25%以上を基本方針とし、
安定的な配当の継続並びに1株当たりの配当の増額に努めていく



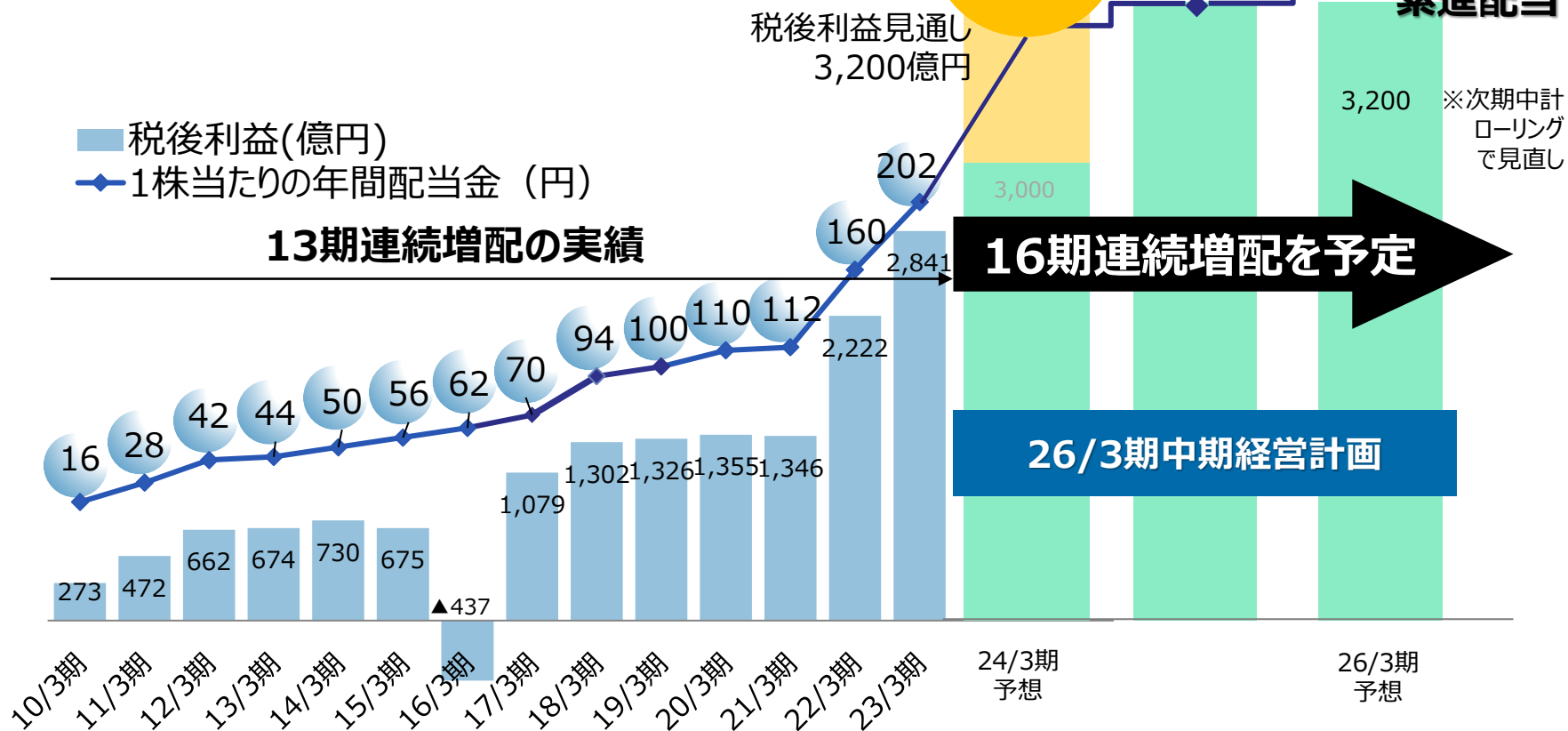
【新還元方針】

変更後

2024年3月期から2026年3月期において、
累進配当を実施し、配当性向30%以上を達成。
加えて、キャッシュフローの動向を踏まえ、
追加的に機動的な総還元策を検討する。

新株主還元方針 配当推移

1株当たり 配当金	前期実績	'23,10/31 公表	前期比 増減額
中間	96円	125円	+29円
期末	106円	125円	+19円
年間	202円	250円	+48円
配当性向	25.0%	27.5%	+2.5%



キャッシュアロケーション

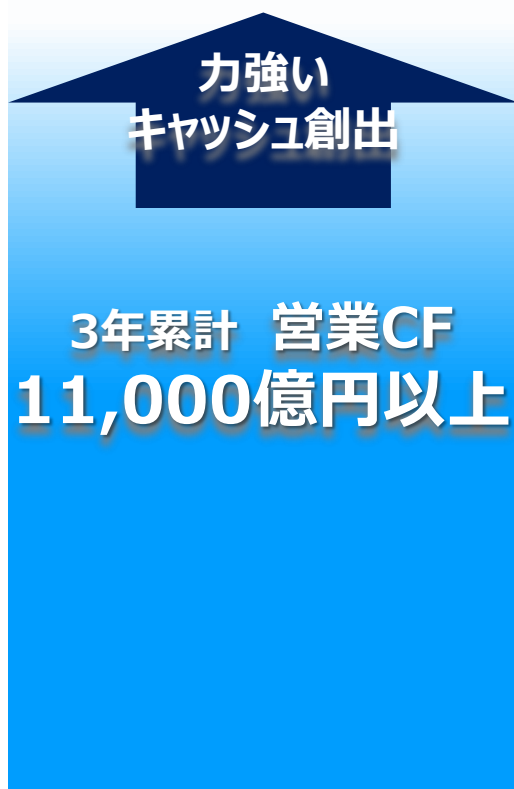
中期経営期間において持続的な成長とキャッシュ創出力の強化を実現

投資方針

- ・ 原則、営業CFの範囲内で投資

財務方針

- ・ ネット DER 1.0倍以内
- ・ RA/RB 1.0倍未満でリスク管理



キャッシュイン



キャッシュアウト

追加的に
機動的な
総還元策

成長投資
の拡大

目次

I. 会社概要～豊田通商とは～ P3～8

II. 業績推移 P9～10

III. 成長戦略 P11～14

モビリティ関連事業 P15

再エネ事業 P16～18

アフリカ事業 P19～24

IV. 株主還元方針 P25～28

V. 質疑応答

当社HP紹介

投資家情報

個人投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただけるよう、当社の戦略、業績、配当方針についてわかりやすくご紹介します。

豊田通商について



当社の成長戦略



グループ業績



配当方針



もっと詳しく
知りたい方へ



豊田通商

で

検索



当社個人投資家HPへ是非アクセス下さい！

<https://www.toyota-tsusho.com/ir/individual/>



過去10年間の財務サマリー

(単位：億円)

← 日本会計基準 → ← 国際会計基準 →

	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
売上高/収益 ※	77,432	86,634	81,702	57,973	64,910	67,627	66,940	63,093	80,280	98,485
税後利益	730	675	▲437	1,079	1,302	1,326	1,355	1,346	2,222	2,841
総資産	40,727	45,336	39,521	42,120	43,100	44,414	45,452	52,280	61,431	63,770
資本	11,560	13,044	10,557	12,235	13,621	13,896	13,724	16,580	19,428	20,685
ネット 有利子負債	10,889	12,335	11,027	11,019	10,069	9,884	10,324	9,934	12,382	12,983
営業CF	1,339	1,691	3,083	1,597	2,150	2,107	2,678	2,450	501	4,442
ROE	8.4%	6.4%	▲4.3%	10.8%	11.7%	11.2%	11.3%	10.1%	13.9%	15.6%
ネットDER	1.12倍	1.10倍	1.24倍	1.05倍	0.86倍	0.83倍	0.86倍	0.68倍	0.71倍	0.68倍

※日本会計基準においては売上高、国際会計基準では収益



Be the **Right ONE**



豊田通商株式会社

豊田通商株式会社 財務部 IR室

E-mail: ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com

Tel: 03-4306-8201

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。